

授業改善推進 セミナー

千代田町立千代田中学校





本日の内容

1. 育成を目指す子供の姿
2. 具体的な取組
3. 本日の授業（授業改善）
まとめ

エージェンシーを発揮する

「自律した学習者」へ

～群馬県教育ビジョン(第4期群馬県教育振興基本計画)の実現に向けて～

幼児教育施設から高等学校まで、全ての学校園で取り組みます

自分で学びをつくりたい
知らないことを知るの楽しいよ
違う考えがあるから面白いね
失敗してもいい自分の言葉で話そう
社会をつくるのも家と違っていいものだから楽しくて自分たちなんだ

学校生活の中で、写真のような子供たちの姿が現れるといいですよ。そのためには、子供たち一人一人がエージェンシーを発揮する自律した学習者になっていくことが大切です。

でも、実際は、こんな感じの子が多いな
間違えているかもしれないから黙っていろ。
言われたことだけすればいいの。

エージェンシーとは、「人が誰しも生まれつき持っている自分と社会をより良くしようと願う意思、原動力」です。学ぶ内容は、幼稚園教育要領や学習指導要領に示されている内容であり、これまでと変わありません。今、私たち教師に必要なのは、子供たち自身の力を信じ、学びの転換を図ることです。

一斉型の講義を受けるだけの受動的な学び → 主体的で他者と協働した学び(主体的・対話的で深い学び)

子供たちの力を信じるということは、学習の進め方や方法を全て任せて、教師は放任するという意味ではありません。問題を解決していく学びの中で、右に示した場面を意図的に取り入れていくことが大切です。詳しくは見聞きをご覧ください。

私たちは教師もエージェンシーを発揮し、新しい物事に前向きに取り組み、チャレンジする姿勢や、変わりゆく状況に柔軟に対応できる資質・能力を身に付けていきたいと思います。

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

●群馬県教育委員会 平田部美教育長からのメッセージ●

子供たちは、生まれながらにして自分と社会をより良くしようと願う意思を原動力にして、主体的に成長しようとする力を持っています。この力を生かした教育の実現に向けて、失敗を恐れず、試行錯誤しながら取り組んでいきましょう。

令和6年3月 群馬県教育委員会
(エージェンシーを発揮するための学びを推進するリーフレット)

共通認識したいこと

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

幼稚園教育要領や学習指導要領の資質・能力の三つの柱(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」)の育成を目指して、具体的な取組の例を示します。

- 《取り入れたい場面》を意図した問題解決的な学びを行いましょう。
- 教師は見守りつつ、適切な支援(意欲や目的意識を高める問いかけ、比較・分類・関連等を意図した発問等)を行いましょう。
- ※子供たちが好きなことを自由にしてよいということではなく、課題の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でより良い方法を考えることができるようにすることが大切です。

《取り入れたい場面》

自己決定 当事者意識を持ち、主体的に学習に取り組む
対話・交流 自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深める
試行錯誤 失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く

エージェンシーを発揮(自律した学習者)

高等学校

変化の激しい社会を自分の力で歩んでいける人

自らの生き方や社会の課題の解決に向けた探究的な学習となるように、単元・題材をデザインしましょう。

●英語コミュニケーションI 課題について考察する場面

私たちの身近な地域の課題ってどんなことがあるかな? 誰もが住みやすい街にするには、どうしたらいいかな?

Your Project
To work on social issues around you and to give a presentation in English

私たちの町は高齢化が進んでいるよね。

実社会における課題を自分事化し、分析・考察した上で、具体的な提案・解決策を英語でプレゼンテーションする単元をデザインします。

地域や社会を調べ、試行錯誤しながら課題の解決につながる提言をすることができました。

中学校

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

●1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面

自分は実際に実験をして確かめたいけれど、友達のように前に学んだ作業を使っても予想が合っているといえそうだな。

様々な方法で考えたことを交流する良さを味わうとともに、光の性質を多面的に考えることができました。

小学校

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

●1年算数「ながさくらべ」の比較の仕方について考える場面

友達の粘土と長さ比べたいな。でも動かすと粘土が切れちゃうー

リボンを使えば比べられそう。鉛筆も半分でも比べられるかもー

リボンや鉛筆等、比較に使える具体物を用意して、自由に使えるようにします。

子供たちが何度も試しながら、あきらめずに自分たちで、「くじらのおもちゃ」から水を出す方法を見付けることができました。

幼児教育施設

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて、環境の構成をしましょう。

●水遊びの場面(水遊びおもちゃ)

昨日、先生がくじらから水を出していたな。

水が出ないー

どういふにすればいいのかな?

ペットボトルを持ち上げてみるよ。

水が高いところから低いところに落ちる仕組みを利用した「くじらのおもちゃ」を用意して、見守ります。

子供たちが何回も試しながら、あきらめずに自分たちで、「くじらのおもちゃ」から水を出す方法を見付けることができました。

教科学習の基盤となる遊びが自然に行われます。

行事等

園生活の思いを自由に表現する作品展

自治的な話し合いに基づく手作りの行事

生徒主体で校則を見直す生徒会活動

自分で事業所を見付けて決める職場体験

明るく地域づくりを目指す花植えボランティア

総合的な学習(探究)の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りが各教科等の学びに深まりと広がりを生み出すことになります。

総合的な学習(探究)の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りが各教科等の学びに深まりと広がりを生み出すことになります。

ポイント 活動自体が目的ではなく、自分たちで行事を作り上げていく意義を実感し、より良い社会を実現するために何ができるかという視点を持って生活できるように支援しましょう。

ポイント 探究してきたことをアウトプットする場面

ポイント 仲間や友達を通して課題を見いだす場面

ポイント 仲間とともに考える場面

ポイント 探究してきたことをアウトプットする場面

上記の場面はあくまでも一例です。総合的な学習(探究)の時間と行事等は、どの校種にも置き換えて考えることができます。

各教科等で身に付けたい資質・能力の育成

児童生徒一人一人がエージェンシーを発揮する学びの中で資質・能力を育成できるように、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進しましょう。

[はばたく群馬の指導プランⅡ](#)

[はばたく群馬の指導プランⅡ ICT活用Version](#)

各教科等の目標に迫る
「主体的・対話的で深い学び」

[各教科等授業改善プロジェクト](#)

公開授業ハイライト動画 [R6](#) [R7](#)

全国学力・学習状況調査学習サポート動画
[R3](#) [R4](#) [R7](#)

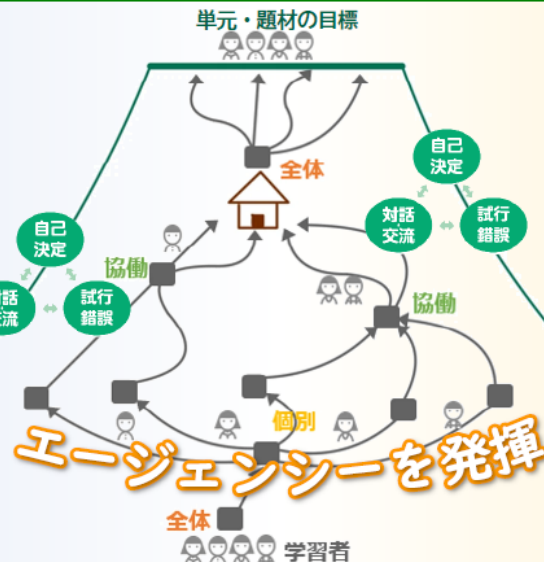
教師が「～させる」授業から、児童生徒一人一人が「～する」授業へ

環境の構成

- 学習のゴールを児童生徒と共有し、伴走者として適切に支援する
- 児童生徒の姿を適切に見取り、学びの価値の意識付けを行う
- 児童生徒が自ら決定できる学び方の選択肢を用意する

児童生徒の学び方改善

- 追究（求）すべき課題を自分たちで設定し、解決への見通しを持つ
- 課題解決に向けて、失敗を恐れずに繰り返し試行錯誤する
- 自らの学びを自覚し、自己調整につながる振り返りをする



「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のためのサポートマガジン『みるみる』（文部科学省）より図を一部加工

教材研究 単元・題材構想

- 教科等の深い学びに向かい、学びたいという思いを引き出せる教材を研究する
- 児童生徒の日常生活や社会と関連した単元・題材を構想する
- 系統性を踏まえた学習状況やつまづき等、児童生徒の多様な実態を把握する
- 児童生徒の意識の流れに沿った問題解決的な学習、探究的な学習を重視する

[ICTを活用した家庭学習のススメ](#)
[家庭と学校の学びをつなげた授業の実践事例](#)

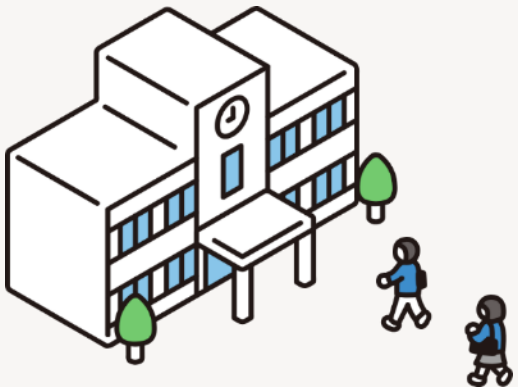
デジタル学習基盤の整備・活用

[問題解決的な学習を充実させるICT機能](#)

Ⅰ 育成を目指す子供の姿

学校の思い

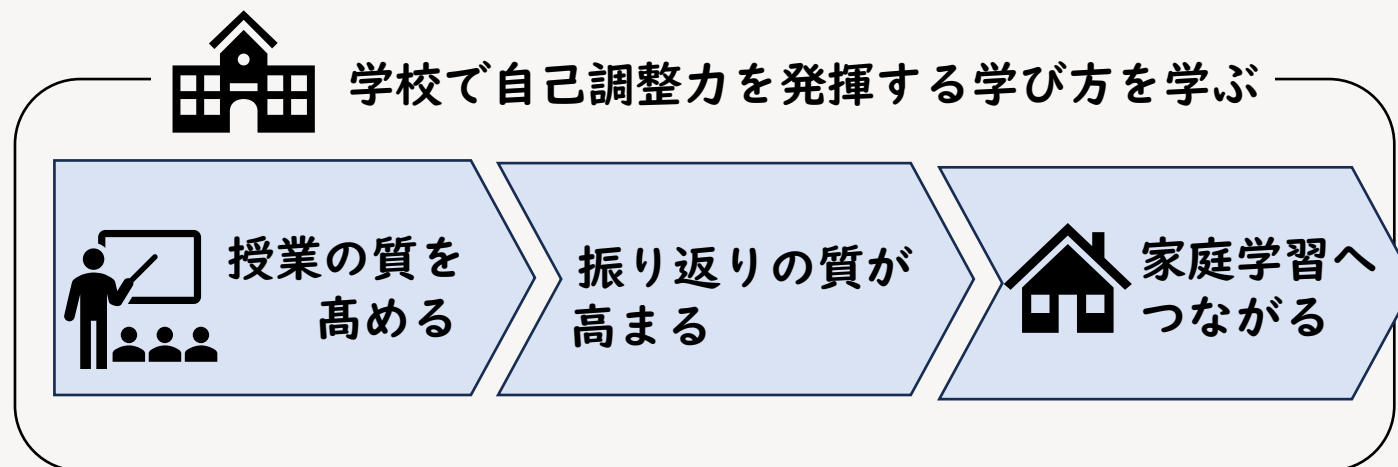
見通しと振り返りを用いて学習を自己調整し、
エージェンシーを発揮して主体的に学ぶ生徒を育成したい



I 育成を目指す子供の姿

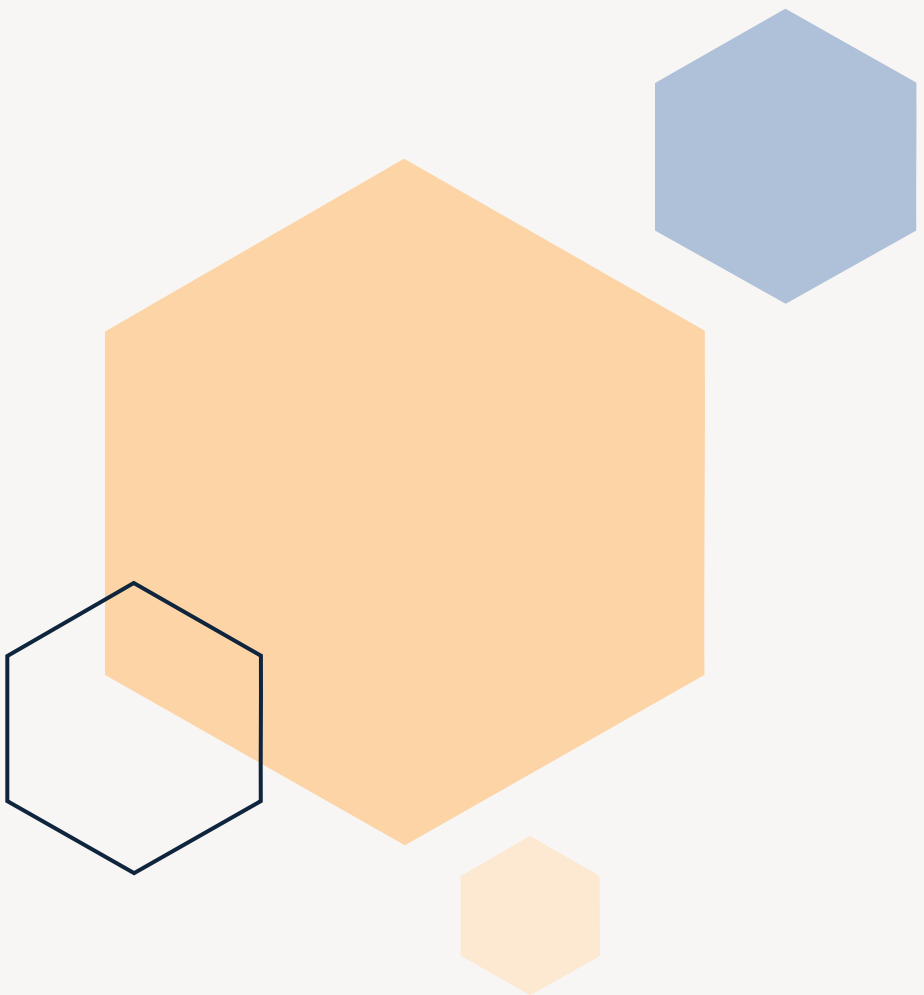
校内研修主題

「自己調整力を高めた生徒の育成」
～教科の特性を生かした効率的な授業デザイン～



その先の学びを
生徒が自ら広げる





2 具体的な取組

- ・45分授業の展開
- ・自己調整タイム
- ・生徒アンケートの実施
- ・教科部会の充実
- ・校内研修

2 具体的な取組

4 5分授業の展開

単元構想の検討

4 5分授業で質の高い授業を実現するために、単元全体を見通した授業設計を行う



具体的な手立ての共有

- ・ **めあてと振り返り**を必ず設定
- ・ 生徒が**試行錯誤する時間**を確保
- ・ **中心発問**を精選する
- ・ 授業と**自己調整タイム**をつなげる



「5分短縮」ではなく、
「生徒の学びの時間を生み出す」

2 具体的な取組

自己調整タイム

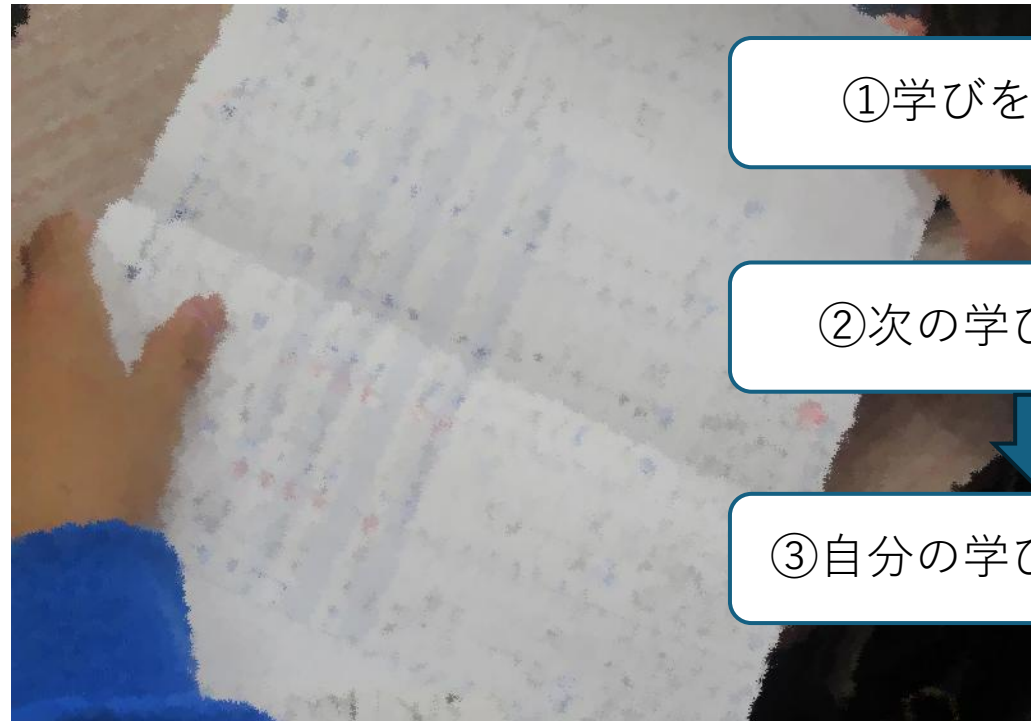
自分の学びを振り返り、次の学びへつなげる

1日の授業後の15分間

「今日の学び」を振り返る時間



フォーサイト手帳の活用



①学びを振り返る



②次の学びを見通す



③自分の学びを調整する

授業中・自己調整タイム・家庭・休み時間・隙間時間などに記入

2 具体的な取組

自己調整のサイクル

見通す→実施→省察→次の見通しへ

① 見通す

「どう学ぶ？」

- ・ 前日の振り返りをする
- ・ 1日の授業を「どう学ぶか」見通しを持つ



今日は
これを頑張
ろう

② 実施する

「やってみる」

- ・ 学び方を自分で選択する
- ・ 試行錯誤しながら学ぶ
- ・ 仲間と対話・交流する



③ 省察する

「どうだった？」

- ・ 学びを振り返る
- ・ 良かった点・課題点を見つける
- ・ うまくいかなかった理由を基に改善策を考える



もっと
できるかも

次の見通しへ

「次はどう学ぶ？」

次の見通しを持つ

次は、
こうして
みよう



このサイクルを繰り返し、自分の学びを調整していく

授業の中で、「見通す・実施する・省察する」経験を積み重ねていく

2 具体的な取組

取組の成果を検証する～生徒アンケートの実施～

授業や自己調整の取組による生徒の変化を捉え、授業改善につなげる

授業に関するアンケート

授業に関するアンケート（国語） 2025.8.6

(1) 授業に集中し、学習内容を理解できているか？

	よくできている	どちらかといえばできている	あまりできていない	全くできていない
1年	41.3	50.0	6.6	2.2
2年	59.7	38.9	1.4	0
3年	60.3	37.0	1.4	1.4
全体	55.5	40.8	2.6	1.0

(2) 学習課題（めあて）が提示され、その振り返りを授業で行っているか？

	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
1年	23.9	65.2	10.9	0
2年	55.6	34.7	9.7	0
3年	63.1	30.1	5.5	1.4
全体	50.8	40.3	8.4	0.5

(3) 課題に対して先生が説明する時間が減り、先生や友達に話し合いや相談をしたり、タブレットで調べたりして、自ら課題に取り組む時間が増えたか？

	増えた	どちらかといえば増えた	あまり増えていない	全く増えていない
1年	28.3	60.9	10.9	0
2年	54.2	33.3	12.5	0
3年	38.4	49.3	11.0	1.4
全体	41.9	46.1	11.5	0.5

(4) 自分の学び方（個人、ペア、グループ）やツール（タブレット、ワークシート、ノート）などを自分で決めることができる場面が設定されているか？

	よく設定されている	どちらかといえば設定されている	あまり設定されていない	全く設定されていない
1年	41.3	62.2	4.3	2.2
2年	47.2	45.8	6.9	0
3年	43.8	46.6	8.2	1.4
全体	44.5	47.6	6.8	1.0

(5) 一冊に同じ課題が出されるだけでなく、自分の力に合った内容や量を減らしたり、難易度（レベル）を自分で調整する場面が設定されているか？

	よく設定されている	どちらかといえば設定されている	あまり設定されていない	全く設定されていない
1年	23.9	60.9	15.2	0
2年	56.9	29.2	13.9	0
3年	34.2	54.8	9.5	1.4
全体	29.8	57.1	12.6	0.5

- 学習への集中・理解
- めあてと振り返り
- 自ら学ぶ時間
- 学び方を自分で選択

教科ごとに実施
→結果を「よりよい授業づくり」に生かす

自己調整に関するアンケート（全校・学年）

①成果：目標をもって学ぶことができている

教員の認識・取組

授業の最初に、生徒が「今日は何を身に付けるか」という本時のめあてを意識できるように提示や声掛けをすることができているか。

88%

生徒の実態

学習を始める時、目標を持って取り組んでいるか。

82%

教師の働きかけが
生徒の学びにつながっている！

②「どう学ぶか」を自分で決める場面は、成長の余地がある

教員の認識・取組

個別最適な学びにおいて、生徒が自らの学びを主体的に選択したり、自己決定したりできる場面を設定しているか。

58.8%

生徒の実態

暗記するだけでなく、図を書いたり、声に出したりして、自分に合った学習法を工夫しているか。

69.2%

約3人に1人が
十分取り組めていない

「どう学ぶか」を自分で選ぶ・工夫する力はまだ伸ばせそう！

③生徒は自分で学ぶ力の芽がある

生徒の実態

分からない言葉や解き方などをタブレットや辞書、参考書等で自力で調べていたか。

78.5%

目標を持つ 82%

自分で調べる 78.5%

自分にあった学習方法を工夫 62.9%

具体的な
手立ては
何だろう？



2 具体的な取組

授業改善：教科部会の充実

①個人で振り返る

1 学期振り返りアンケート

- 自分の授業を振り返り、
成果と課題を整理する

1 学期 振り返りアンケート(教員用)

教科 () お名前 ()

★1学期を振り返り、以下のアンケートにお答えください。

① 授業の最初に、生徒が「今日は授業準備につけるか」という本筋のめあてを整理できるように促すかや準備を促すことができていますか？

1. 全くできていない 2. 大抵できていない 3. 大抵できている 4. 全てできている

② 授業の最初に、生徒が自分の学びを主体的に選択したり、自己決定したりできる場面を設定していますか？

1. 全く設定していない 2. 大抵設定していない 3. 大抵設定できている 4. 全てできている

③ 授業の最後に、めあてや中心内容に照らした「振り返り」の場を設け、生徒が自分の学びを振り返り、次期につなげようとしていていますか？

1. 全くできていない 2. 大抵できていない 3. 大抵できている 4. 全てできている

④ 「わかる」から「できる」を目指し、授業が習得する時間を確保し、生徒の活動する時間を増やすよう授業時間の工夫をしていますか？

1. 全くできていない 2. 大抵できていない 3. 大抵できている 4. 全てできている

⑤ 45分授業でも、授業内容の精選や單元構成、年計画の見直しを行うことができていますか？

1. 全くできていない 2. 大抵できていない 3. 大抵できている 4. 全てできている

★上記の回答内容、生徒のアンケート結果をもとに分析を行い、ご自身の授業の、課題、2学期に向け改善したいこと、感想等をお書きください。

②教科部会で共有・分析

成果や課題を出し合い、
要因を分析する

③生徒の姿から考える

「自己調整力を発揮した
生徒の姿」を基に、改善
の視点を考える

④授業改善へ

成果（見られた変容）

- ・ 振り返りを基に、次の学習につなげようとする姿が見られた
- ・ 授業の学びを基に、自ら学習を広げる姿が見られた

課題（今後の改善点）

- ・ めあてと振り返りを、より効果的に次の学びにつなげる工夫
- ・ 個に応じた適切な支援

各教科等における「自己調整力を発揮した生徒」とは？ → 2学期の具体的な授業改善へ

2 具体的な取組

校内研修

各教科等で、自己調整力を発揮した生徒の姿は？



その姿を生み出す教師の手立てとは？



各教科等における「自己調整力を発揮した生徒の姿」

各教科等の学びの中で、自分の学習を調整している生徒の姿を具体化する。

今後は、各教科等で共有した視点を基に、授業実践・振り返りを行い、生徒の主体的に学習に取り組む態度として評価につなげていく。



3

本日の授業

国語科(3学年)

単元名

「様々な観点で批評したことを基に、
『故郷』を読む意義について語り合おう」

3 本日の授業

特に現れてほしい子供の姿

言葉への気付きを手掛かりに、考えを吟味しながら、
言語活動に取り組み続けている。

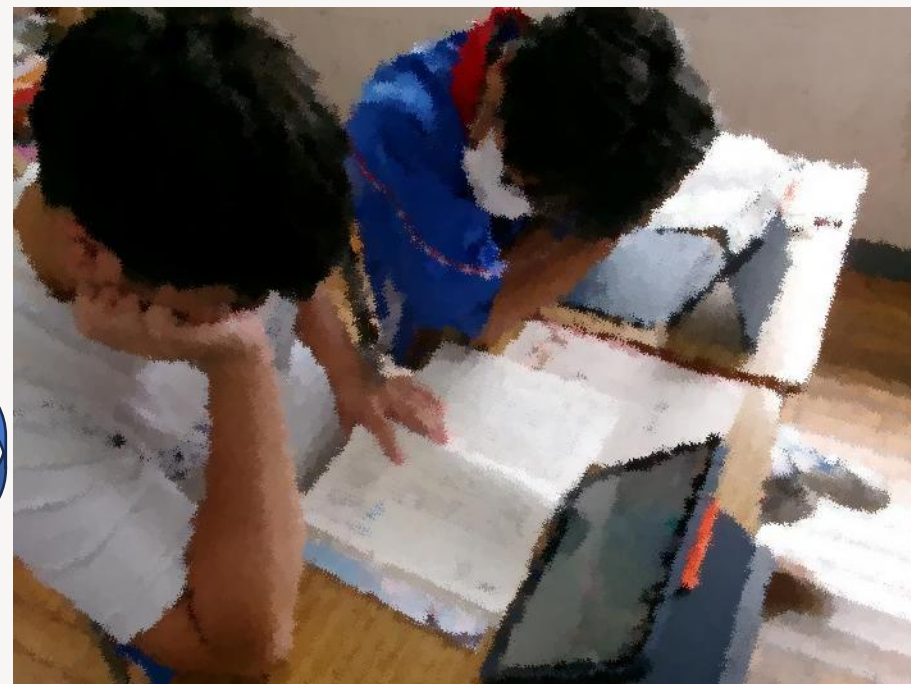


生徒は前時までに、自ら選択した観点で作品を読み、作品を理解・解釈したことを基にして自分なりに作品の価値を見いだしている。



自分が一度捉えた作品の価値に対して、異なる観点を選んだ友達と交流し、新たな情報を手にする。

本文の叙述や、これまでに自分や友達が理解・解釈したことを行き来しながら、新たに手にした情報を取り入れ、作品の価値を再構成する。



「授業者の困り感」と「校内研修」との関連

授業者が困っていたこと

ついつい説明
が長くなって
しまう

めあてと振り
返りの質を高
めたい

活動すること
が目的になっ
てしまう

もっと生徒の力を伸ばしたい！

校内研修で大切にしたこと

試行錯誤の時
間の確保

発問の精選

授業と自己調
整タイムをつ
なげる

めあてと振り
返りの場面の
設定

「授業者の困り感」と「校内研修」との関連

授業者が困っていたこと

ついつい説明が長くなってしまう

めあてと振り返りの質を高めたい

活動することが目的になってしまう

もっと生徒の力を伸ばしたい！

校内研修で大切にしたこと

試行錯誤の時間の確保

発問の精選

授業と自己調整タイムをつなげる

めあてと振り返りの場面の設定

「追究する」過程 授業改善の 3つのカギ



短時間で身に付けたい力に焦点化する



身に付けたい力に絞った思考を保障する



「めあて」→「振り返り」→「めあて」のサイクルをつくる

授業改善の🔑① ～短時間で身に付けたい力に焦点化する～

【校内研修との関連】

試行錯誤の
時間の確保
発問の精選

☑ 単元における本時の位置付けを把握できる

学習計画を掲示する

☑ 本時のねらいに向かうための問いを生み出す資料の提示や

活動の演示をした上で、問いを明確にするための発問を行う

生徒が活動の見通しを持てるようにし、

言葉への気付きを手掛かりに、

考えを吟味しながら、言語活動に取り組み続け



るきっかけをつくる

授業改善の🔑② ～身に付けたい力に絞った思考を保障する～

【校内研修との関連】

試行錯誤の
時間の確保
発問の精選

☑ 身に付けたい力の発揮を促す発問にこだわる
(既習事項のつまずきは個別に支援する)

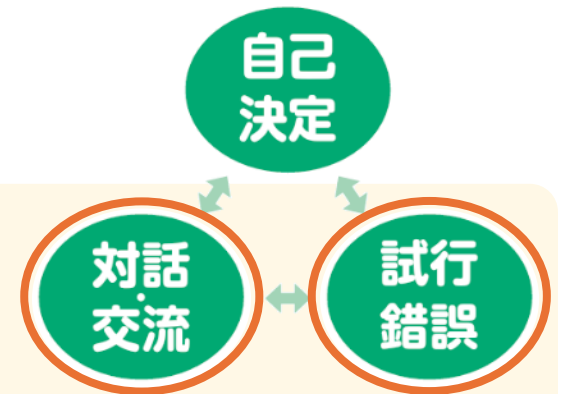
☑ 活動の時間を区切らない

時間を確保した上で、意図的に

言葉への気付きを手掛かりに、

考えを吟味しながら、言語活動に取り組み続け

ることを促す



授業改善の 🔑 ③ ～「めあて」「振り返り」「めあて」のサイクル～

【校内研修との関連】

自己調整力の向上
めあてと振り返りの
場面

☑ 前時の「振り返り」を本時の「めあて」につなげる

☑ 単位時間をつなぐ振り返りの視点を提示する

単元の課題の解決に向けて、自己調整しながら
言葉への気付きを手掛かりに、
考えを吟味しながら、言語活動に取り組み続け

ることを促す



実際の授業の様子 ～単元構想～

単元終了後の生徒の姿を明確にする

身に付けたい力を整理する

単元の活動として具体化する

知識及び技能(3)オ

- ・ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。

思考力、判断力、表現力等C(1)イ、エ

- ・ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 C(1)イ
- ・ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 C(1)エ

本を読んだ感想は持つけれど、その読書が自分にとってどのような意味があったのかについてはあまり考えていないな。



作品をもっと対象化して読む読み方ができるようになりたいな。
多様な考えを取り入れて、自分の考えを深められるようにしたいな。

作品を対象化して理解・解釈するためには、観点が必要だな。
異なる観点を使って理解・解釈したことを交流できれば、理解・解釈を深めることができそうだな。

理解・解釈したことをもとに、その作品を読むことが自分にとってどのような意味を持つのかまで考えられるようにしたいな。



実際の授業の様子 ～単元構想～

単元終了後の生徒の姿を明確にする

身に付けたい力を整理する

単元の活動として具体化する

作品を対象化して理解・解釈するためには、観点が必要だな。
異なる観点を使って理解・解釈したことを交流できれば、理解・解釈を深めることができそうだな。

理解・解釈したことをもとに、その作品を読むことが自分にとってどのような意味を持つのかまで考えられるようにしたいな。



観点から作品を理解・解釈する

理解

叙述を根拠に、作品に
書かれた事実を読む

→読み手による差が**小さい**



解釈

理解したことを基に、自分
なりに行間を補って読む

→読み手による差が**大きい**

理解・解釈したことをもとに、
作品の価値を捉える

作品の価値

作品に内在する
作品固有の性質



作品を読む意義を考える

作品を読む意義

学習者によって異なる、
作品を読むことによって
得られる効果等

批評

意義

※言葉の定義にはこだわりすぎない（生徒の実態に合わせて共有できるレベルで）

実際の授業の様子 ～単元構想～

単元終了後の生徒の姿を明確にする

身に付けたい力を整理する

単元の活動として具体化する

観点から作品を理解・解釈する



理解・解釈したことをもとに、
作品の価値を捉える



作品を読む意義を考える

批評

意義

1	2	3・4	5	6	7
単元の課題を設定する	理解の土台が必要だな。 人物相関図を用いて作品の全体像を共有しよう。	それぞれの観点ごとに読む時間が必要だな。 これまでに学んだことの中に、使える道具はないかな。 理解と解釈を往還するような手立てとして何ができるかな。	複数の観点を結び付ける時間が必要だな。 複数の観点で理解・解釈したことを結び付ける方法を共有する必要があるな。	作品の特性を自分に寄せて、自分なりの意義を考える時間にしたいな。 「作品の意義」と「作品を読む意義」を混同しないようにしなければ。	単元の学習を振り返る



指導に生かす評価

思・判・表(1)イ

知・技(3)オ

思・判・表(1)エ

実際の授業の様子 ～「つかむ」過程～

ねらい

単元の課題を自分事化すること・単元の学習の見通しを持つこと

単元の課題

複数の観点で批評したことを基に、『故郷』を読む意義について明らかにしよう



どうしたら、「『故郷』を読む意義」に対する問題意識を持てるだろう。

批評する活動を設定したいけれど、どのように『批評する』を生徒と共通理解しよう。
また、どうしたら生徒たちは「批評しよう」って思えるだろう。

情意面からのゆさぶり

『故郷』が65年間も教科書に掲載されているという事実
中学校3年間の国語の集大成に位置付く教材であること

「なぜこんなにも長く読まれているのだろう」
「これまで学んだことは、「批評する」ことにつながるのだね」
「これまでに学んだことを生かせばよさそうだな」

これまでに学んだ知識

これまでの文学的文章の学習で、「人物像」「構造」「表現の工夫」「主題」など、さまざまな読み方を学んできたこと



実際の授業の様子 ～「つかむ」過程～

ねらい

単元の課題を自分事化すること・単元の学習の見通しを持つこと

単元の課題

複数の観点で批評したことを基に、『故郷』を読む意義について明らかにしよう



「批評する」際の観点や批評の仕方を例示して、活動のイメージを共有しよう。

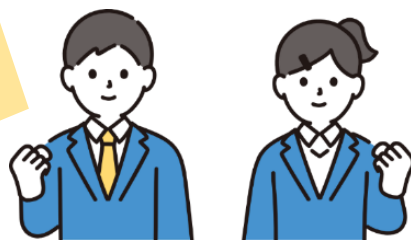
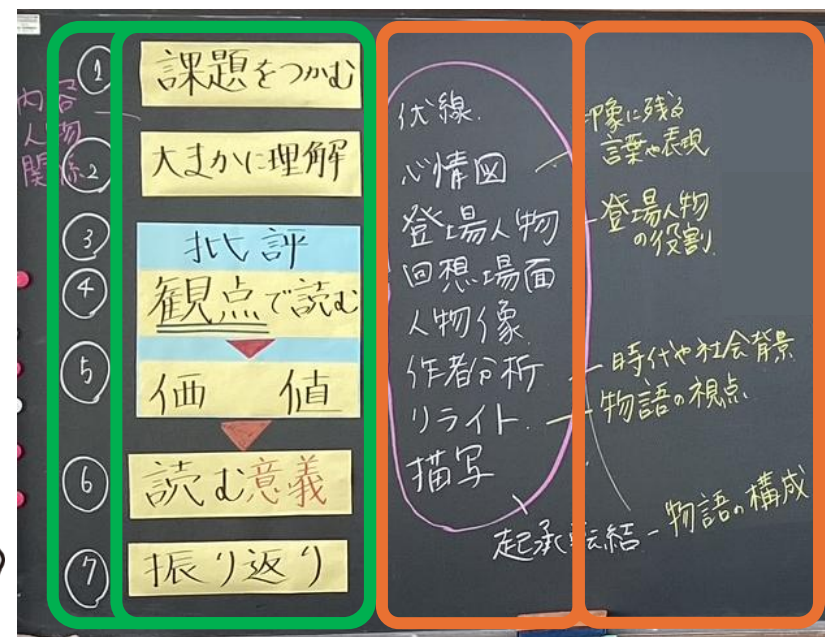
単元の学習計画を立てて、単元の見通しを持てるようにしよう。

「単元の流れがわかり、次の時間でどのように単元の課題に向かっていくのか整理ができた。次の授業では人物や心情を大まかに理解する。そのために家で故郷を読む。」

「今考えた「読む意義」を、観点を基に書くことができた。この意義が単元を通してどのように変わっていくのか、内容を理解して学んでいきたい。」

批評の仕方
(批評までの流れ)

学習計画



既習事項

批評の観点

実際の授業の様子 ～「追究する」過程～

観点から作品を理解・解釈する



理解・解釈したことをもとに、
作品の価値を捉える

批評

作品を読む意義を考える

意義



短時間で身に付けたい力に焦点化する

「つかむ」過程

課題を把握する

「追究する」過程

全体像を捉える



批評する



意義を考える

「まとめる」過程

振り返る

(授業前)

生徒の学習状況や前時の振り返りの把握

- 作者との関係は？→ヤンおばさんなどの登場人物を通して社会がどんどん悪くなって貧しくなると、人の心や良さが壊れてしまう。と伝えている？
- 病気や災害があると神頼みにするしかない社会だった。

(導入時)

生徒の問題意識につながる資料等の提示

(ある生徒の振り返り)

回想場面と現実場面と同じ言葉が使われている理由が分からなかったけど、.....

(導入時)

問題意識に基づいた本時のめあて

めあて
複数の観点の批評から『故郷』の価値をさらに見つけよう

自己決定

対話
交流

試行
錯誤

観点ごとに様々な問いが存在しているな。違う観点同士の読みが交わるとさらに読みが深まりそうだな。

Aさんの問いについて、みんなで考えてみましょう。

違う観点で活動している友達の読みを聞くと、新しい発見がありそうだな。

実際の授業の様子 ～「追究する」過程～

観点から作品を理解・解釈する



理解・解釈したことをもとに、
作品の価値を捉える

批評

作品を読む意義を考える

意義



身に付けたい力に絞った思考を保障する

<活動中>

・生徒の学習状況を見取る→ 学習状況に応じて関わる ※想定と関わりの例



生徒A

作品を正しく
理解していない

叙述を
問う

どこに書いてあった？
〇〇ってどういう意味？
これは誰の言葉？ など

生徒B

表面的な理解に
とどまっている

理解を
ゆさぶる

つまりどういうこと？
どのくらい変わった？
もしこの場面が～だったら？

生徒C

価値に至っていない

対象化を
促す

自分に置き換えると？
なぜその表現を用いたのだろう？
この作品を紹介するとしたら？

実際の授業の様子 ～「追究する」過程～

観点から作品を理解・解釈する



理解・解釈したことをもとに、
作品の価値を捉える

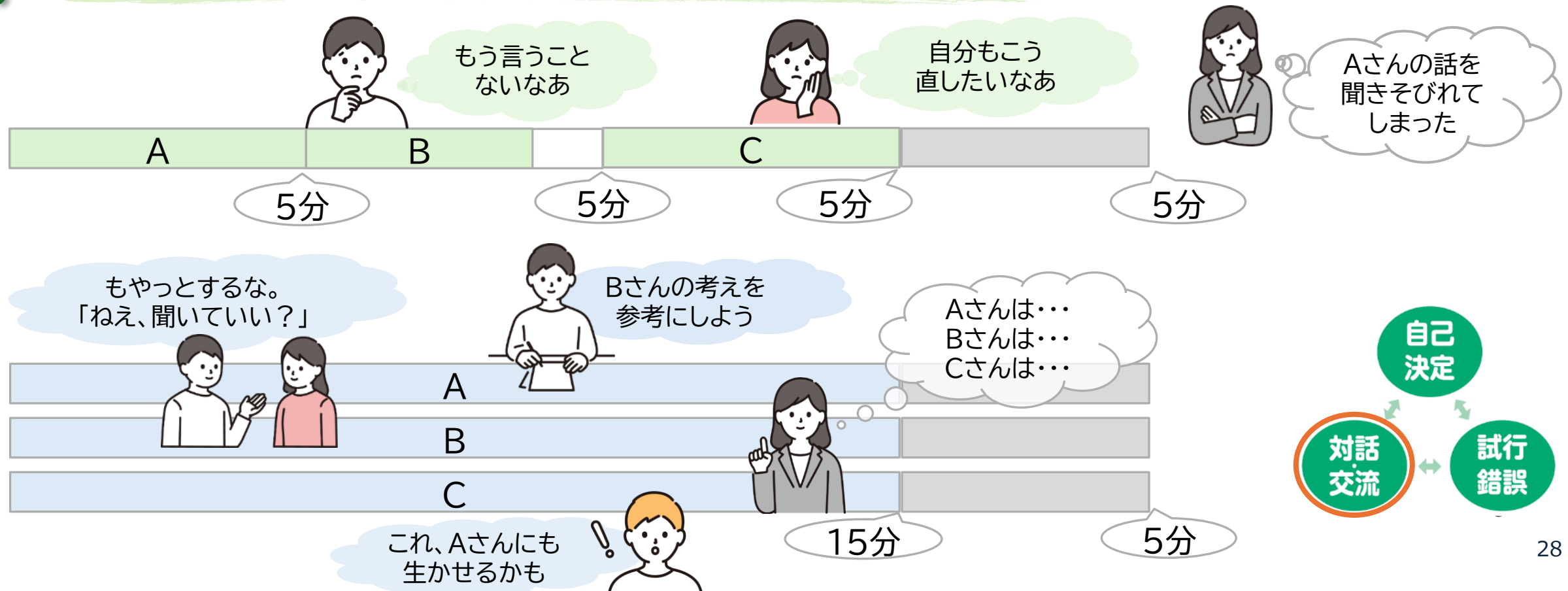
批評

作品を読む意義を考える

意義



身に付けたい力に絞った思考を保障する



実際の授業の様子 ～「追究する」過程～

観点から作品を理解・解釈する



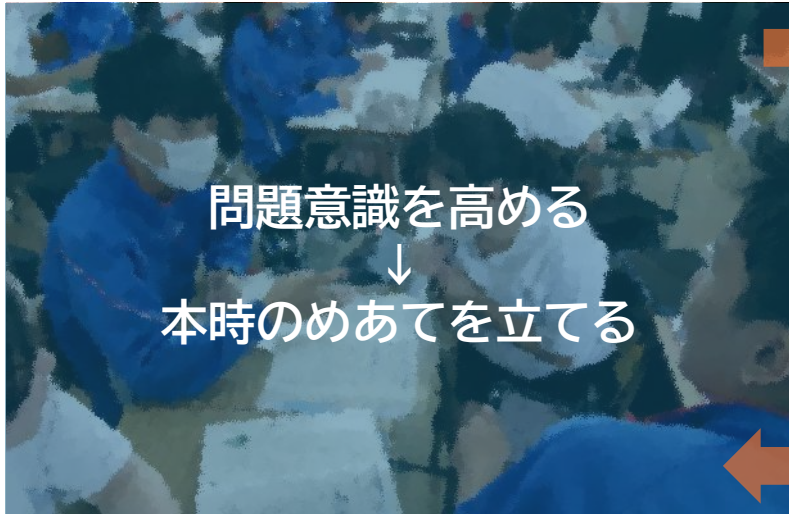
理解・解釈したことをもとに、
作品の価値を捉える

批評

作品を読む意義を考える

意義

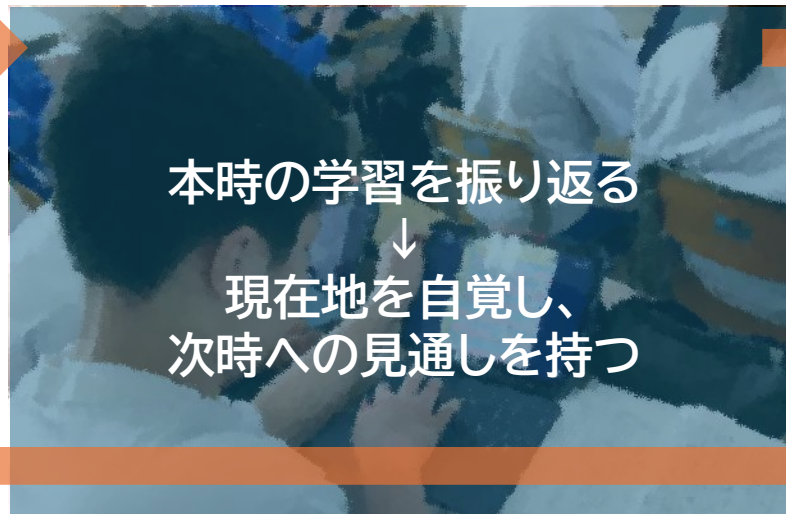
「めあて」→「振り返り」→「めあて」のサイクルをつくる



問題意識を高める



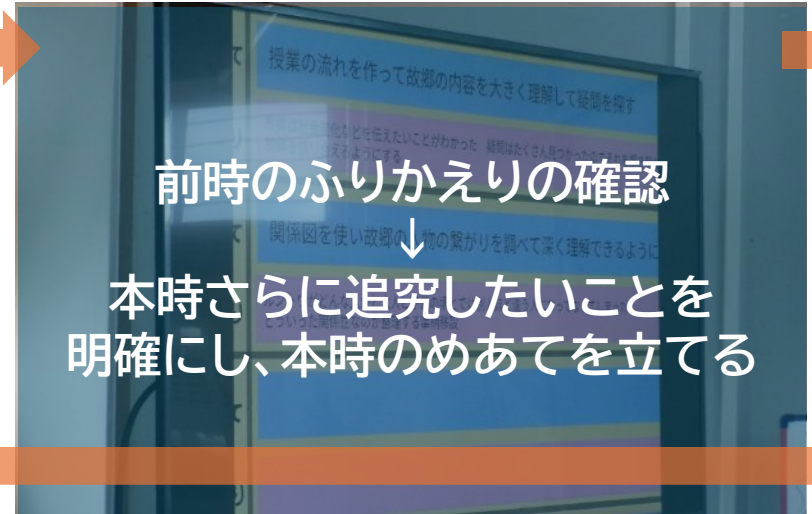
本時のめあてを立てる



本時の学習を振り返る



現在地を自覚し、
次時への見通しを持つ



前時のふりかえりの確認



本時さらに追究したいことを
明確にし、本時のめあてを立てる

当時の社会の状況を重ね合わせたら、登場人物の変化の意味が理解できるようになってきたよ。これを基にして、『故郷』の価値を見いだせるといいな。

『故郷』は、社会が人を変えてしまう現実を描いた作品と言えるのではないかな。他の観点で読んでいる友達は、『故郷』の価値をどう捉えているのだろう。

自己
決定

対話
交流

試行
錯誤

実際の授業の様子 ～「まとめる」過程～

「つかむ」過程

課題を把握する

『故郷』はなぜ65年間も教科書に載り続けているのだろう。

「追究する」過程

全体像を捉える → 批評する → 意義を考える

美しい過去と、荒れ果てた現在の**対比**がはっきりしていると分かった。・・・
この物語が、なぜ65年間も教科書に載り続けているのか疑問が深まった。

「**人物の役割**」に**着目すると**、ヤンおばさんはただの嫌な人ではなく、過酷な社会を生き抜くために凶々しくならざるを得なかった人物だと気づいた。・・・

・・・
人物・視点・描写・背景が**組み合わせ**って、二人の間の「厚い壁」が想像できるように書かれているのだと感じた。

・・・
現代でも、世代やグループなどの間に「壁」はある。「歩き出せ」「道を作れ」という**メッセージが現代にも生かせる**と感じた。

「まとめる」過程

振り返る

単元を通して故郷がなぜ65年間も教科書に載り続けているのかを考えてきた。
これまでは物語の中に入り込んで読むだけだったが、「**人物の役割**」や「**物語の視点**」という観点で読むと、一歩引いて作品の仕組みを見る面白さを感じることができた。別の作品でも、客観的に読む読み方を試してみたい。

「批評する」「『故郷』を読む意義を考える」を軸に振り返る

何を学んだか

身に付けた力を一般化する

身に付けた力を次の学びにつなげる

どのように学んだか

まとめ

授業者が困っていたこと

校内研修で大切にしたこと

「追究する」過程 授業改善の 3つのカギ



短時間で身に付けたい力に焦点化する



身に付けたい力に絞った思考を保障する



「めあて」→「振り返り」→「めあて」のサイクルをつくる

特に現れてほしい子供の姿

言葉への気付きを手掛かりに、考えを吟味しながら、
言語活動に取り組み続けている。